

委員および一般からの意見

委員からの流域委員会の審議に関するご意見、ご指摘（2002/3/12～2002/4/4）

2002/3/18

メール

原田委員（淀川部会）

- 第13回淀川部会（3/14開催）にて河川管理者より提出された資料（資料4）に対する感想、質問が寄せられました -

淀川部会における委員発言に対応する資料を読ませていただいて

淀川部会委員 原田泰志

私のいろいろな疑問に対し、丁寧にご対応いただきありがとうございます。

以下、読ませていただいた感想や、さらにわいてきた疑問など述べさせていただきます。

1：この点については、趣旨は了解いたしました。もう少し、議論しておきたいこともありますが、現段階ではあまり重要ではないと判断しますのでここでおかせていただきます。ありがとうございました。

2：大きくわけて、2点おうかがいします。専門家からみられて非常識な質問をしているかもしれませんが、その場合にはご指摘いただけますと幸いです。また1の趣旨のもとでは、ここで述べることはあまり重要ではないのですが、具体的に治水計画を立てられるときには重要となるとお思いますので、述べさせていただきます。

ア：モデルの「検証」の意味ですが、洪水実績にあわすようにパラメータをあわせた（いわゆるキャリブレーションをした）というだけでなく、モデルの仮定している（と思われる）、流出量の貯留量への非線形的依存性を表す関数型等を個々の流域ごとに検証したということでしょうか。とくに、今回シミュレーションされたような過去に経験していない豪雨のシミュレーションにおいては、これまで経験した降雨の範囲の経験値から外挿できない関係を示す可能性があると思うのですが、大丈夫でしょうか？

イ：引用された、建設省河川砂防技術基準（案）同解説 調査編より抜粋された部分には理解ができない部分がありました。

（5-12）にpとあるが、これはcの間違い？

（5-13）式の Q_i は Q_f のまちがい？

（5-13）の説明の S_1 は S のまちがい？

これらの他にもミスプリントがあるのではないかと想像します。できれば訂正版を再度おしめしくださるようお願いいたします。

(重要)(5-13)式の貯留量と流出量との関係と、(5-15)の流域からの流出量の式(貯留量が出てこない)とは、必ずしも両立しないように思うのです。なにかわたしが考え違いをしていると思いますのでご指摘ください。

具体的にKやcの値はどれくらいなのでしょう？興味がありますのでできたら教えてください。(5-12)は広い範囲の貯留量においてよいあてはまりを示しているのでしょうか？

3：よろしくお願いたします。単なる必要性の説明にとどまらず、ダム建設するかどうかの判断をするために必要と河川管理者が考えられる資料を(外部から要求されてはじめて出すのではなく)、最初からできるだけお示しいただければと思います。もちろんすべてを配付することは不可能ですから、科学論文の記述のように、一部の資料は引用するかたちであらざるをえないと思います。

4：(以前に)拝見いたしました。ありがとうございました。

5：法律にも根拠があるのでしょうか、なにか、もうすこし上手なやり方がないかと思います。すでにいろいろ議論されているのですが…。民有林を新規に住宅地造成する場合等とあまり本質的に状況は変わらないようにすら思えるのですが。

6 および維持流量の現状：ありがとうございます。維持流量もえらく削減されることがある現実、水質のために維持流量を流している面が大きいという現実、など、その後、関係の方などからも情報をいただきました。ただし維持流量の減少と水質の関係について十分な資料はないように思いました。9ページ10ページの図を拝見し、関係の方からいただいた情報もいれて考えますと、維持流量を下げた分だけ琵琶湖からの放流量をいつでも減らせるわけではなさそうなこと、すなわち私が最初考えていたほど単純ではなさそうなこともわかりました。ただ、私自身、先日の会議でのべた、維持流量もダム等と同様に考慮の対象となるべきという考えには変わりません。大川の維持流量は28ページにありますような新淀川の水質・環境、寝屋川の水質・環境等とのトレードオフがあるだけでなく、利水のためのダム開発を通じて、源流の環境とのトレードオフがあることも認識しておくべきとは今でも考えています。なお、念のため申し添えますと、このトレードオフが特段重要と考えているわけではなく、これまで考えられてこなかったトレードオフもひろく考慮にいれて、総合的に利水の問題を考えるべきではないか、という考えのあらわれとご理解いただきたく思います。

7：疑問が完全に解消したわけではありませんが、河川管理者が十分な検討をされたうえで責任をもって書面で回答されたものですので、現状の技術でもっとも妥当な判断であると理解します。なお、過去の洪水時に現実にこのことを行うにはどのようなダム操作が必要であったか。それはどういう理由で困難かをもう少し具体的にしめしていただけたならさらに深く納得がいくのですが、そこまでは求めません。ありがとうございました。ただ、一点だけ教えてください。放流可能量合計2440トンの算出の根拠になっている、高山ダムの1300トンの説明が洪水調節開始流量となっていますが、放流可能な最大流量はそれより大きいように図3では見えます。間違いでしょうか？

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2002/3/12～2002/4/4）

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
1	奥中久米司 氏	×	3/16	（第9回委員会傍聴希望の際に添えられていたご意見です。） 干潟や葦の姿復元 自然再生推進法案特に近畿地方の政令指定都市、自然環境の破壊が著しい地域に新たに自然を整備する支事業なども含まれており、政令指定都市の環境再生にもつなげる、特に資格者はISO14001の以上する。
2	上野やす子 氏	×	3/17	（第9回委員会傍聴希望の際に添えられていたご意見です。） 前回出席させていただいているいろいろな意見を聞きこの問題をどうして市民や一般の人が知ることが出来るのかまた行政はと思われました。 私は彦根市の環境で先日多景島付近の水質検査をしに行きましたが10年前のことを思うと水の色が違っていました。（出席者の中ではまだまだ美しいと言っていたら私でしたが）私は10年でこれだけ違ってびっくり致しました。琵琶湖の水が全部入れ替わるのには17年間かかります。17年間は長いと思う人また短かく思う人いろいろでしょう。でも大切にしてほしいのです。また川では水中生物の大切さも知ってほしいですね。水中生物によって美しい水がどうか簡単に知ることが出来ると思いますので学校や自治体で勉強会などするといいいのではと思います。
3	大阪都島少 年硬式野球 協会 小林恵二氏	×	3/18	淀川水系流域委員会 芦田和男委員長宛に、大阪都島少年硬式野球協会 代表小林恵二様から、「淀川河川敷工事計画に対する請願申請書」が提出されました。 別紙1を参照ください。尚、別紙本文中添付書類（11,236名の請願書名簿）については、掲載を省略しております（庶務にてお預かりしております）。
4	井上哲也氏	×	3/26	湖沼・河川の水質の保全に関するご意見が寄せられました。 別紙2を参照ください。
5	石橋亮氏	×	3/29	私は淡水二枚貝について色々調べさせてもらっています大学院生です。琵琶湖淀川水系のシジミ類について調べたのですが、琵琶湖（南湖）、淀川、宇治川、桂川などでは、在来日本産シジミが姿を消しており、外来性のタイワンシジミに置き換わっています。しかし、不思議と琵琶湖の水が入っていない淀川水系（芥川を除く）では、在来日本産シジミが確認されております。私は外来性シジミの増加について、輸入シジミが関わっているのではないかと考えております。私としましては、シジミの輸入により外来性シジミが広範囲に広がっていること、それにより在来産シジミの生息環境が脅かされていることを一般の人たちにも広く理解していただくことが必要かと存じます。
6	京都府木津 町長 宮本裕三氏	×	4/3	淀川水系流域委員会 芦田和男委員長、淀川水系流域委員会淀川部会 寺田武彦部会長宛に、淀川水系流域委員会へ、ご意見が寄せられました。 別紙3を参照ください。
7	枚方市役所 大橋謙一氏	×	4/3	本市では、毎年市政モニターによるアンケート調査を実施していますが、平成13年度は「淀川」など3項目について調査を行ないました。 「淀川」については別紙の通りです。淀川部会での検討の資料として御活用いただければ幸いです。なお、設問によっては複数回答になっているものもことから、回答の合計が100%を越えているものもあります。 別紙4を参照ください。

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
8	NGO「海洋の 空」研究グ ループ 赤井一昭氏	×	4/4	淀川、猪名川の河川浄化構想のご提案が寄せられました。 別紙 5 を参照ください。
9	精華町役場 荒木氏	×	4/4	精華町において策定中である河川敷運動公園整備計画の進捗状況と木津川河川 敷についてのご意見が寄せられました。 別紙 6 を参照ください。

